

市政について



三宅 眞

問 ①6月12日の狛江・生活者ネットワーク  
山本議員の一般質問に対する副市長の答  
弁を確認する。答弁の中で「第1回定例会の  
セクハラの一連のやりとりの中で、第三者を  
含めた再発防止体制の提言をいただいている  
ことも含めて、苦情処理委員会のあり方を  
検討する必要がある」との発言があったが、  
趣旨を再度伺う。

②(答弁確認する意味で)第1回定例会予算  
特別委員会(三宅も含めた各議員)  
の求めた第三者の目を入れて運用する仕組  
みを含めたハラスメント防止に関する議会主  
導での条例案を認識された。市としてもこれ  
に呼応する形で、より実効性のある制度とす  
べく、現在の苦情処理委員会のあり方、ハラ  
メントの相談等について検討していくとい  
う理解でよい。

答 ①「第三者を含めた再発防止体制の提言」  
とは、先立っての第1回定例会の予算特  
別委員会において他の議員から、外部の第  
三者の目を入れて運用する仕組みも含めたハ  
ラスメントの防止に関する条例を議会主導で  
提案する旨の提案のことを想定したもの。こ  
れに呼応する形で、市としても、より実効性  
のある制度とすべく、現在の苦情処理委員  
会のあり方、また、ハラスメントの相談から  
調査、処理までの流れについて、改めて検  
討したいとの主旨から答弁した。

②そのような理解でよい。

他に、次期基本計画を見据えて  
今やるべきことに関して質問

新たな公会計制度導入に伴う狛江市の  
財務書類について



山田 たくじ

問 ①新公会計に則った財務書類をもつとP  
Rすべきではないか②新公会計の導入・  
作成段階と利活用段階のどちらに当市はあ  
るか。活用の目標はあるか③新公会計に期  
待するところ④当市の仕分けは日々仕訳か  
期末一括仕訳か。期末一括仕訳のデメリット。  
日々仕訳へ移行する際の課題⑤新公会計に  
取り組む意義⑥これまでの自治体会計の課  
⑦固定資産台帳の活用が望まれる理由。

答 ①市HPに掲載②導入・作成段階。活用  
目標は、他団体の事例も参考に検討③施  
設別・事業別の行政コスト計算書の作成など  
④期末一括仕訳。事業別の分析等に十分に対  
応していない。対応したシステム導入の経費  
負担等が課題⑤財政の効率化・適正化を図  
ること⑥ストック情報や現金支出の伴わない  
コスト情報が見えにくい⑦公共施設等のマネ  
ジメントなどに活用することが求められる。

市民の「民意」をどのように捉えるか  
(その3)

問 ①市民モニター制度のこれまでの2年と  
今後の展望②これまでの具体的な成果・  
状況③モニター制度の改善案はあるか④市民  
モニターの方を市のコアサポーターと捉える  
のはいかがか⑤市民モニター制度は最終形か  
⑥民意を汲み取るという点で、他自治体がど  
ういう状況にあるかという認識⑦他自治体  
でできていることがなぜ狛江市でできないのか

答 ①定数を倍増した。幅広く問題意識を持  
てるよう工夫する②情報提供に対して反  
応があり新たなツールとして機能した③ファ  
シリテーター等の活用は有効④市が実施する  
事業に参加いただけるよう、今後も働きかけ  
を行う⑤数ある手法の一つと認識⑥双方向で  
伝えあう手法が増えている⑦新たな手法等が  
効果的に民意を捉えられるか研究する。

他に、環境基本計画にある湧水復活の方策  
について質問

開かれた狛江市イメージアップ作戦



谷田部 一之

問 ①子育て分野の部署が庁舎玄関口に位置  
している自治体はどのくらいあるか。  
②市民の利便性を考えると、2階にある納税  
課、課税課を3階に、児童青少年部を3階か  
ら2階に移動できないか。  
③部署ごとの、あるいは、課ごとの就労時間  
の偏りが顕在化してきている。人員配置や課  
の再編成は。

答 ①低層階に配置している市が多いが、狛  
江市と同様に庁舎規模が小規模の市は  
中階層に配置している。  
②各階の面積が限られている中で、ニーズや  
職場環境等を勘案し配置している。  
③組織改正ではそのような視点も考慮する。  
④市民ニーズや費用対効果、他市の動向等を  
調査、把握した上での検討が必要。他市の事  
例等を含め情報収集を図る。  
⑤187本。  
⑥市民からの意見等を勘案し、必要に応じて  
委員会やパブリックコメントといった市民参  
加を通して行う。  
⑦これまでも貸し出しは行っており、今後も  
庁内に向けて、積極的な活用の呼びかけを行  
う。  
⑧過去に実績がある。今後も同様にイベント  
等にあわせてバッジの着用などを行っていく。

2020年東京オリパラ、  
市制施行50周年について



石井 功

問 ①味の素スタジアムで試合やイベントが  
行われる時、狛江駅北口からバスの直行  
便が出る。東京オリパラの時のバス会社との  
情報交換、調整について②ボランティアにつ  
いてはどのように考えているのか。特に英語  
等外国語に堪能なボランティアが必要と考  
えるが③せつかくのチャンスだが、市外、海外  
から来られた人たちに對してアピールする  
「狛江の魅力」は何と考えるか。

答 ①東京都と交通会社等が協議している。  
市内バス会社と必要に応じて連携が取れ  
る関係性を構築している②大会に向けてボ  
ランティアマインドを醸成し、将来にわたつて  
地域で活躍する人材を育成することはレガ  
シーとなる③狛江駅周辺としては、北口の特  
別緑地保全地区の自然環境や、休憩やイベ  
ントスペースとして利用できる「メビウス∞え  
きまえ広場」など。

障がいのある人もない人も  
安心して暮らせるまちづくりについて

問 ①障がいのある人が安心して暮らせるま  
ちは誰もが賛同するものと考えているが、具  
体的なイメージとなると難しいが、どのよ  
うなものか②そのイメージの中で現在既に  
達成できているものは、どのようなものがあ  
るのか③現在は達成できていないが、着手し  
ている、もしくは計画されているものは④現  
在はまだ課題段階のものは何か。

答 ①相談を継続的に受けられる、住まいや  
居場所が確保され必要な支援を自ら選  
択・支援を受けながら働き続けられる、医療  
的ケアや可能性を広げる教育が受けられる、  
差別なく合理的配慮が提供され社会参加でき  
るなど②福祉作業所の暫定統合で作業環境を  
改善、通所施設の定員拡充、重症心身障がい  
児(者)レスパイト事業開始など③子育て・  
教育支援複合施設整備④地域生活支援拠点の  
整備。

児童・生徒の安心安全について



篠 浩司

問 ①小学二年生の女子児童が巻き込まれた  
新潟の事件を受けて、市の対応について  
②市内通学路の危険箇所把握について③見通  
しに影響のある樹木等への対応は④児童・生  
徒が事件等に巻き込まれないための取組み  
は⑤現在の取り組みの成果と、不足と感じる  
点は⑥以前行った「愛犬にバンダナを巻いて  
パトロール」の再度実施について⑦学校安全  
ボランティアの募集状況と男女比について⑧  
協力者を対象とした研修は実施されているか  
⑨女性の協力者からベストを着用しづらいと  
の意見があるが、他のグッズを考えられない  
か⑩通学路の安全確保のためのデジタル地図  
の早期導入を強く望むかがか。

答 ①通学路の安全確保に向け、国として対  
策を打ち出すよう検討している等の  
ニュースを、小・中学校に情報提供している  
②毎年9月ごろに、従前より把握している危  
険箇所と各学校より抽出された危険箇所を、  
調布警察署、関係部署で合同点検を行い通学  
路の危険箇所を把握している③危険等が認め  
られたときは、関係部署と連携を図り、管理  
者へ改善を依頼④学校安全パトロールや安心  
安全パトロールなど地域の皆様の見守りや、  
学期の始期終期の見守り放送など⑤一定の成  
果はあるが、児童が人目の届かない、人目に  
つかない場所に一人で行く場合も想定され  
る点⑥検討したい⑦随時行っている。4月を強  
化月間として広報こまえやSNS等を通じて  
募集を行っている。全登録者177名中、男  
性34名、女性143名⑧年1回行っている⑨  
目に見える形にすることで犯罪抑止効果を高  
めることを狙い、現在の形で実施している⑩  
現在、調査・検討を行っている。